



# ほけんだより

上庄ひいらぎ こども園 7月

これからの季節、海や山など活動の範囲も広がりますが、屋外は刺虫症の危険も伴います。

## 刺虫症(虫さされ)

虫に刺される、咬まれる、吸血されることによっておこる皮膚炎のことです。

虫さされは、蚊・ブヨ・ノミ・ハチ・ムカデ・毛虫など、刺された部位が赤く盛り上がり、かゆい・痛い・腫れるなどの症状がでます。

虫の種類や児の体質により、軽症から重症、死亡に至ることもあります。

予防の第一は虫に刺されないことです

虫よけグッズ(虫よけスプレー パッチ剤等)の使用

屋外活動時は皮膚の露出をしない

黒っぽい衣類は避ける

ハチの巣など不用意に近づかない、触らない

音量や香水等 音や香りで刺激をしない



マダニなど、皮膚を咬んでいる場合は、自分で除去せず医療機関(皮膚科など)受診しましょう  
虫体の一部が皮膚に残るとかゆみから掻き壊し、悪化しとびひになることもあります

## ハチに刺された場合

処置:水で洗い流す 毒を吸引(可能なら) 痛みや腫れは冷却する 皮膚科を受診する

ハチ毒は約15分以内に症状が出る 경우가多く、局所的な腫れから全身症状まであります  
場合によりアナフィラキシーショックを起こします

アナフィラキシーの症状がでて心停止までは約15分ともいわれ速やかな治療が必要です  
息苦しさや意識が朦朧とする場合は救急車を呼びましょう

初回のハチ刺されが安全なわけではありませんが 2回目以降のハチ刺されは重症度が高くなる可能性があります 子どもたちがより安全に園生活を送れるように

お子様がハチに刺された場合は、担任まで情報の提供をお願いします



- ◇ 子どもの三大夏風邪(手足口病・ヘルパンギーナ・プール熱)は6月～8月が流行のピークです。  
いずれもウイルス感染症です。石鹸での手洗いを励行しましょう。  
タオルの共用は家族内感染に繋がります
- ◇ 熱中症予防に心がけましょう。  
子どもは体温調節機能が未熟です。  
さらに体調不良を上手に伝えることができません。  
のどが乾く前に、こまめに水分補給しましょう。  
外遊びのときは、さらに注意しましょう。

